

スズキ、インドでコンパクト SUV 新型「ブレッツァ」を発表



スズキのインド四輪子会社であるマルチ・スズキ・インディア社（以下、マルチ・スズキ）は、コンパクト SUV の新型「ブレッツァ」を発表しました。新型「ブレッツァ」は、マルチ・スズキのカルコダ工場で生産し、インド国内のアリーナ店で販売します。

「ブレッツァ」は、スタイリッシュな都市型コンパクト SUV として 2016 年の発売以来、多くのお客様に支持され、マルチ・スズキの SUV ラインアップをけん引してきた主力モデルです。これまでインド国内で累計 140 万台を販売しています。

新型「ブレッツァ」は、フロントグリルやバンパーのデザインを刷新し、SUV らしい力強さとスポーティーさをさらに高めました。パワートレインは、1.5L デュアルジェットエンジンに加え、新たに 1.0L ブースタージェットエンジンを設定し、スポーティーな走りを実現しました。

また、アイドルストップ機能付き 1.5L デュアルジェットエンジン CNG 車を設定しました。CNG 車は環境に配慮したカーボンニュートラル燃料であるバイオガスにも対応するとともに、CNG タンクを車体下部に配置するアンダーボディタンクレイアウトを採用し、優れた積載性を確保しています。

安全面においては、インドの新車安全性能評価プログラムである BNCAP において最高評価となる「5 つ星」を獲得しました。

現在、インド市場における SUV 比率は約 6 割※1 まで拡大しており、市場成長をけん引する主要セグメントとなっています。スズキは新型「ブレツァ」の投入を通じて、SUV ラインアップの強化を図るとともに、スズキは、インドのお客様の多様なニーズに寄り添いながら、さらなる販売拡大とブランド価値向上を目指してまいります。

※1 2025 年度インド自動車市場、スズキ調べ。

●新型「ブレツァ」の主要諸元

寸法	全長 3,995mm×全幅 1,790mm×全高 1,685mm	
パワートレイン	1.5L デュアルジェット	6MT/6AT
	1.5L デュアルジェット CNG	6MT
	1.0L ターボ ブースタージェット	6MT

以上